



正木小だより

令和6年4月30日

# まさき

## 夢は成長の原動力

令和6年度は、新入生126名と転入職員16名を迎えて、児童711名と教職員62名でスタートしました。

本校の教育目標の最初の言葉に、「夢」があります。この夢は、10～20年先のように長い年月をかけて追いかけていく目標であると考えています。こんな仕事に就きたいという職業としての目標もあれば、やさしい人になりたいなどの人としての生き方についての目標もあります。夢は、長期的な目標です。

その夢を実現するためには、毎日の地道な努力が欠かせません。毎日、夢を実現するためにこんなことを頑張りたいと立てる目標のことを「めあて」ととらえています。例えば、授業で自分の考えを仲間に伝えたいというめあてをもって生活することです。めあては、短期的な行動目標です。

ある新聞の4月1日の記事に、「夢は成長の原動力」と見出しがありました。2023年は、将棋の藤井聡太さんは将棋で八冠を達成し、野球の大谷選手は、世界大会「ワールドベースボールクラシック」で大活躍をしました。二人とも幼少のころから将棋や野球を続け、なりたい自分をイメージして地道に取り組んできました。その成果が今の姿を作り出していると思います。

本校の教育目標は、「夢やめあてに向かって 仲間とともに 進み続ける子」です。昨年度の全国学力学習状況調査（6年生）で、将来の夢をもっている児童は約80%でした。校長としての私の夢は、「楽しい学校にしたい」ということです。新しい学級になって子供たちに「学級はどうですか？」と尋ねると、「楽しいです。」と笑顔で返してくれました。1年生は1年生なりの、6年生は6年生なりの楽しさがあると思います。子供たちだけでなく、教職員、保護者、地域など、本校に関わる全ての方にとって、「楽しい学校」になるように、私自身も夢の実現に向けて取り組みたいと思います。

令和6年度も昨年度と同様に、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長 花村伸二

